

# 春まるかじりツアー

4月4日(日) ~ 4月6日(火)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	レクリエーション大会 オリエンテーション	屋内レクリエーション
2日目	野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンプファイア
3日目	思い出工作	施設を出発 解散式	

**一日目：** 各集合場所から尼崎駅に集合し、いよいよ春まるかじりツアーが始まりました。いつもなら、ここでグループ分けをしますが、今回は施設に着いてからグループ分けを行います。少しドキドキしながら、施設へ出発です。施設に到着後は、待ちに待ったお昼ご飯を食べました。昼食後は、グループ分けを行い、自己紹介、レクリエーションとどんどん活動が進んでいきます。初めのレクリエーションは「鬼ごっこ」と「しっぽとり」を行いました。徐々に追加されていくルールに困惑しながらも全力でレクリエーションを楽しみました。雨が降り出したので、屋内に移動し翌日のキャンプファイヤーで踊るダンスの練習をしました。リーダーに教えてもらいながら一生懸命踊ります。明日までに踊れるように何度も練習しました。その後、宿泊棟に移動して入浴準備やベッドメイキングを行いました。説明を思い出しつつ、リーダーに手伝ってもらいながら準備を整えました。夕食まで少し時間があつたので、各グループで再度自己紹介をしたり、談笑したりと有意義な時間を過ごされていました。夕食は食堂で済ませ、夜は広場で翌日のカレーの具材をかけたレクリエーションをしました。各グループが一位を目指し、真剣にレクリエーションに取り組んでおられました。宿泊棟に戻り、就寝の準備をします。明日も朝から、盛沢山の活動のため早めに消灯しました。



**二日目：** 起床の合図とともに、まだ眠たい目をこすりながら準備を整えます。朝の集い終了後、野外炊事場へ向かいました。朝食は「パックドック」を作りました。キャンプならではの朝ごはんに目を輝かせながら作っておられました。少し休憩してから昼食の「カレーライス」作りにとりかかりました。グループの中で、野菜係・お米係・かまど係を分担し係ごとに調理を始めました。リーダーに教わりながら、それぞれ順調に調理を進めていきます。風も強かったため火をつけることに悪戦苦闘されておられました。火をつけることができたグループからお鍋を火にかけていきました。ご飯の炊け具合、ニンジン・ジャガイモの柔らかさをグループで確認しながら進めていきました。グループそれぞれのスペシャル食材の入った美味しそうなカレーライスが完成しました。少し量も多く、食べきれないかと不安に感じましたがその不安は他所に何度もおかわりをし、どのグループの鍋も空っぽになりました。食後の洗い物は、水が冷たい中一人一人が懸命に取り組んでおられました。宿泊棟に戻り入浴準備を済ませた後、グループで施設内を散策しました。夜は、お待ちかねのキャンプファイヤーです。リーダーが用意したゲームをしたり、みんなで練習したダンスを踊ったり時間の許す限り思いっきり楽しみました。最後は、星空を目に焼き付けて宿泊棟に戻りました。



**三日目：** 最終日の朝は、やるのが盛沢山です。荷物の整理、布団の片付けを済ませてから朝食に向かいました。朝食は食堂で済ませ、宿泊棟に戻り部屋の清掃、共有スペースの清掃を行いました。清掃後は、「思い出工作」に取り組みました。今回は、焼き板をガスバーナーで焼くところから始まります。初めて扱うガスバーナーに戸惑いながらも、どんどん板に焼き目がついていく様子を見てワクワクが止まらない様子でした。金ブラシを上手に使い、ススを落としたりこの三日間の思い出を絵に表現します。それぞれが思い出に残っていることを思い思いに表現しておられました。最後の食事を食堂で済ませ、施設を出発する時間になりました。それぞれの解散場所で「またね!」と挨拶を交わし解散しました。



## <キャンプ総括>

春まるかじりツアーでは、他のキャンプとは違い「みんなのちから」でジュニアリーダーを目指す参加者がグループのリーダーとしてグループを引っ張っていきます。そのため年齢も近く、いつも以上にリーダーの存在を間近に感じる事ができたのではないかと思います。また、ジュニアリーダーの存在に感化されて高学年がグループを引っ張っているような姿を見ることができました。いつか、私もリーダーに!という気持ちが芽生えた方もいるのではないのでしょうか。これも春まるの魅力だと感じます。また、いつの日か春まるのメンバーが「みんなのちから」に挑戦する日を心待ちにしております。

(橋本 里佳)